

毎週火曜・金曜発行

復興ニュース

32号
2011年
7月19日

発行：気仙市民復興連絡会
大船渡市末崎町字石浜 34-1
<http://kesen-chiku.ecom-plat.jp/>
Twitter @KesenShiminFR

応急仮設団地に 自治会をつくろう

大船渡市の応急仮設住宅第1号でもある「地の森仮設団地」(4月20日完成入居)では、自治会(清水正悦会長)を立ち上げ、諸活動を開始している。

自治会広報第1号を7月5日付けで発行し、全戸(72戸)へ配布した。内容を読むと、①全戸に網戸が取り付けになります。②集会所で理髪ボランティアがあります(山本さんと小西さんが協力)。③下駄箱の希望者は、清水会長までご連絡下さい(製作は大塚木工の大塚利夫さん)。④ゴミだしのマナーを守りましょう。子どもさんたち交通事故に注意しましょうと呼びかけています。

この広報は、自治会で編集し、大船渡市役所の都市計画課へ持参し、印刷して頂き、全戸へ配布したそうです。

仮設団地ごとに自治会が発足しているが、未結成の団地も多い。未結成の団地の皆さん！自治会を結成し皆で協力して、住みよい環境をつくりましょう。

地の森住宅 広報

第1号平成23年7月5日
発行者 地の森住宅
自治会長 清水正悦

■ 私たちの住宅の玄関に網戸を取りつけるそうです。

市の担当者によると、地の森仮設住宅は、全戸に取りつけをかんがえています。時期はなるべく早く工事にとりかかりたい、といっています。また、居室(茶の間、寝室)の2重サッシについても、やる方向で只今検討中とのことでした。

■ 集会所で理髪を、ボランティアで行います

ご希望の方はどうぞ！ 日程：7月11日(月)午前9時～午後4時30分
○山本理容店の山本トミ子さん(被災前店舗は明神前)
○小西理容店の小西のり子さん(被災前店舗は赤沢)のお二人で
当仮設住宅の住民を対象に、ボランティアで理髪を行うそうです

■ 下足入れ箱の希望をとります(無料)

○希望者は7月10日(日)頃までに、清水会長(11棟-5号)までご連絡ください。○材料は大塚さん(被災前大塚木工1棟-4号)の知人で住田町で製材所を営む方が提供されます(住田町産の杉材を使用します)○出来上がり見本は大塚さん(1-4)の玄関まで。

■ 子供さんたちへ

アーバン(葬儀社)の敷地内に入って、ボール遊び等をしないでください。交通事故が心配されますので。おねがいします。

■ ゴミだしのマナーを守りましょう。

○○燃えるゴミ 毎週 火、金
○燃えないゴミ 第1水曜、第3水曜
○資源ゴミ 第3水曜日
それぞれ8時までに出して下さい

喪失体験と悲嘆ケア～

～講演会のご案内～

無料

未曾有の被災をもたらした東日本大震災から4カ月がたった。被災された方々は、これまで体験したことのない心の痛みや嘆き悲しむ思いを抱いておられる。災害による喪失の特徴は、喪失が重複することにある。このたびの災害でも、ご自身にとって大切なものを何重にも喪失なさった方々が多くおられる。被災地のみなさんやボランティアで活動されている方々への“ケア”の必要性を学ぶ機会となることを願い、講演会を開催することになった。

主催者では、多くのみなさんのご参加をお願いしている。

日時 平成23年8月11日(木) 午前10時から

場所 気仙教育会館 盛町東町14-2 (岩手県教職員組合気仙支部)

講師 高木慶子先生 熊本県生まれ、生と死を考える全国協議会会長、

演題 「愛する人をなくすということ」

第1部 講演会 10:00～12:00

第2部 懇談会 13:30～15:00

主催：おおふなと男女共同参画「うみねこの会」

問合せ先：山下夕エ子 Tel 27-9739

後援：大船渡市・大船渡市教育委員会・

いわて男女行動参画サポーター会、NPO 法人夢ネット大船渡

みなさん！
講演会に
来てね





各支援団体活動情報共有 ～民生委員との連携～

7月14日、第3回目の大船渡アクション・定例ネットワーク会議が福祉の里センターで開かれ、大船渡市や民生委員を含めてNPO等の代表者32名が集まり、被災者へのケア活動について意見交換を行った。

前回の会議で事務局を担当することになった「NPO法人自立生活サポートセンター・もやい」

の大関氏の司会で進められた。

報告された主な内容は、①学習支援・カフェ（大中）、②近くの畑を貸してもよい（住田）、③子どもたちへの図書館、④弁当配達、⑤ニーズ調査等々。民生委員からは、①誰がどこの仮設に入居したか分からない、早く確認して支援したい。②48世帯が赤沢雇用促進に入居したので支援が必要。③ハエが多く網戸が必要。④自宅避難者に困っている人がいる。社協代表者から、1日150人ほどのボランティアが来ている。大船渡市で生活相談員11人を採用して仮設住宅の見守りを行う。また、県立病院の医師からは、元の病院に戻っていない人が多いので、どうなっているか心配であるのでケアの際に聞いて欲しい。次回の会議は、7月21日に開き、仮設団地の支援について話し合うことにした。

陸前高田市・大船渡市の被災者支援へ

NPO法人山形県くらしの共生福祉互助会が訪問

7月16日、山形県くらしの共生福祉互助会の事務局長：佐藤繁喜氏と山形市日中友好協会理事：工藤桂子氏と主人の三恵貿易株式会社邱捷氏が、気仙市民復興連絡会の事務所を訪問した。

事務所では、夢ネット大船渡の岩城・西村、愛知ネットの山口、佐藤事務局長と同業者の浜守氏（碁石給食社長）が対応した。

工藤氏は、陸前高田市の酔仙酒造のお酒を中国へ輸出するなどこれまでも交流があり、陸前高田市や大船渡市の被災者を支援したい。

中国本場の餃子を被災者、特に高齢者に食して欲しい。9月ころから餃子をつくりに来たいとの申し出でしたので、連絡会の炊き出しと同行するなど、一緒に支援活動を約束した。さらに佐藤事務局長から、鶴岡市の高校生が仕分けしている図書、貸出用として地元の読み聞かせ団体と提携して支援したい。大分県の漁協の帽子提供など、支援物資を持参しての訪問でした。



「永沢仮設団地」

ブルーシートで交流の場づくり

大船渡中学校グラウンドに建設した応急仮設住宅「永沢仮設団地」138戸は、学校敷地のため集会所がない。

そこは知恵の発揮どころ、ブルーシートを張って、雨や日光を遮り、交流の広場をつくっている。

この団地では、空室を「黒潮ハウス」との名称にして、子どもたちの学習等へ開放していた。



各戸で野菜づくり 陸前高田市

～米崎小仮設団地～

7月17日(日)午前、米崎小仮設団地(60戸：186人)の自治会長(佐藤一男会長)を訪問した。

どの家庭にもプランターや袋に、野菜のトマト、ナスビ、ピーマンが植えられ、実が大きくなっているものもあった。

佐藤会長に尋ねると、遠野や花巻の支援団体から何かと聞かれ、野菜の苗が欲しいと答え実現した。まもなく食卓へ上るであろうと嬉しそうに答えてくれた。

また、7月16日には、埼玉の某団体から支援を受けて、米崎小団地は全員、米崎中の仮設入居者(89戸)

)や近所の方々へも呼びかけ、この米崎小学校駐車場に300人が集まって盛大な交流会を行った。

地元の方々も歌い、「秩父屋台ばやし」の太鼓演奏もあり、楽しい交流会が出来た。また、玄関に木製の網戸もNHK出版の関係者の支援にて、設置される予定である。米崎小学校避難所当時の各支援団体との交流が仮設に入居した現在も交流・支援が続いている。



竹駒小には七夕

竹駒小学校グラウンドに建設された応急仮設住宅(96戸)、自治会長さんは不在で会えませんが、写真(左)のような見事な七夕が飾ってあった。

この七夕は、平塚ロータリークラブの皆さんが来て飾り、入居者と一緒にバーベキューを行うなど楽しかったと入居者の方のお話でした。

住田町 「中上団地」 63戸 木造住宅

7月18日に住田町下有住字中上に建設した応急仮設住宅「中上団地」を訪問した。この団地は木造住宅が特徴である。

住田町と同社協と民生委員さんが支援している。そこに「邑(ゆう)サポート」が加わ



木造1戸建築



ヨガ教室

り、10月ごろまで支援したい(邑サポート古山さん談)。

18日は邑サポートによる「ヨガ教室」(旧下有住小学校職員室を利用)が開かれ、入居者が参加し日頃の疲れを解していた。お茶会(あいちネット)も予定されていた。

また、4日ほど前に、近所の畑を借り、トマトやナスビの苗を植え、今から収穫を楽しみにしている。

湖西市長らが震災視察 JR 大船渡駅あと地で説明

三陸鉄道(株)は旅行業も行っている。全国から行政等の防災関係者の被災地視察を受け入れている。

これまで三鉄支援を行って来た夢ネット大船渡岩城理事長に声がかかり、大船渡市内の被害や避難所対策等、さらに復興への取組の説明役を務めている。

これまで岡山県会議員、湖西市副市長ら、ジャイカ（インドネシア等防災関係者）、そして7月17日4回目として、三上湖西市

市長ら防災関係者が訪れ、熱心に説明を聞き、避難時の状況、避難所等の衛生面など、それぞれの立場での質問が多かった。次回7月28日も湖西市から今度は市議会議長ら議員が視察に来る。



なでしこジャパンの優勝 被災地に大きな勇気

日本時間7月18日早朝、W杯決勝戦アメリカと日本の戦い、多くの皆さんがテレビの前で応援したことでしょう。もうダメかと思うこと何度もあったが、その度にチーム力で道を切り開き、最後は優勝です。おめでとうなでしこ、おめでとう日本！

被災地のわれわれも「なでしこ」に負けずにがんばろう！

連絡会からのお知らせ

気仙市民復興連絡会では気仙地域における活動団体等の情報収集・発信を行っていきます。情報を発信したい等、相談等の窓口としてお気軽にご利用下さい。TEL47-3271 (fax 兼)

広報活動のお手伝い(取材)も行わせて下さい、お気軽にご連絡下さい。

この復興ニュースは、大船渡市中央公民館（カメラアホール）で印刷しました。復興ニュース32号の編集発行は山口に代わって岩城が行った。



◆ 本紙(復興ニュース)の入手方法についてのご案内 ◆

発行は毎週火曜・金曜日です。配布(掲示)場所は下記のとおりです。(7/12 現在) 御協力いただいている店舗さま・関係者各位さま、いつもありがとうございます。

【復興ニュース配布場所】(順不同・敬称略)

陸前高田市＝陸前高田市役所(1階ロビー)／瀬沢団地仮設住宅(モビリア)全60戸／マイヤ米崎出張販売所・相野果樹園跡(お花コーナーの後方)

大船渡市＝大船渡市役所([受付]から左に進んだ左手棚)／カメラアホール[大船渡市盛町](1階ホール)／大船渡地区合同庁舎(1階ロビー、1階売店)／大船渡社会福祉協議会(ボランティアセンター)／サン・リア(1階昇りエスカレーター横の棚)／リアスホール[大船渡市](警察官詰め所横の棚)／薬王堂 大船渡盛店(レジ裏お知らせコーナー)／薬王堂 大船渡店(レジ横L字カウンター端)／マイヤ 大船渡インター店(レジ後方ガラス窓沿いのカウンター)／・YSセンター(情報コーナー)／福祉の里(情報コーナー、1階ロビー)／喫茶・ロリアン[大船渡市盛町]／ダイマル店頭[大船渡市盛町商店街]／佐々木荒物店レジ横[大船渡市盛町商店街]／千田薬局[三陸町綾里]／地ノ森団地仮設住宅 全72戸／鳥沢団地仮設住宅(蛸ノ浦小学校) 全47戸／黒戸田団地仮設住宅(綾里中学校) 全90戸(住民Nさんによる配布協力:いつもありがとうございます)

住田町＝住田町役場／住田町仮設住宅(火石団地全13戸／本町団地全17戸、中上団地全63戸)

配布が行き届いておらずご迷惑おかけしております。